

紹介

◎方寸畫曆 昨年江湖の大歓迎を受けたるものにして、四十三年分には未醒、繁二郎、鼎、白羊、柏亭、一磨、百穂、恒友の諸氏各々獨特の筆を揮へり、曆としての便利は一のカレンダーに及ばざれど、其繪は趣味横溢、才人の集まりを以て目されたる方寸社同人の奇警なる觀察を窺ふに足るべく、新春机上の珍たらん（一部二十五錢、本郷區駒込千駄木林町方寸社）

問に答ふ

■一 遠景中景近景の松の描法 ■二 日出の時の曉雲及空は如何なる彩料にて畫くべきや ■三 輪廓を大なる線にて描きたるものあり何描法といふにや ■四 圖案と模様區別五 日本人の編著したるものにて挿繪多く初歩の者に適當なる書籍ありや（福岡、白羊）◎一 松の描法を説く事は詳しく言へば本誌一冊分も要すべし 『最新水彩畫法』には描法及松についての

講話あり就て見られよ、要するに松に限らず遠景はぼんやり、中景はやゝ判然と、近景にあるものは正しく明らかに畫くといふだけの事なり、時として遠景のものも雖も幹一本々々明らかに見ゆることもあらん、其儘明らかに現はして畫いてはけれど、かくすれば近景のものは松の葉一本々々畫かれれば調子が合はず、それ故遠いものは極大タイの形と色とを見て畫く、漸く近づくに從つて判然と寫すべし、總じてかゝる問を出す前に、充分他人の作なる松の畫を見て自分も實地につき研究し其上如何にしても了解出來ぬ點を質問するやうにせられたし、自分の研究なしに漠然と問ふたのでは、タトへ満足の答を得ても利益あらざるべく、結局不得要領に終るべし ■二 前の問と同じ事にて春夏秋冬同じからず、又同季節にても多少の霧のある日、風のある日、雲もまた多き時と少なき時によつて其感じも違へば、色も異なり、隨つて繪具も同じからず、是も實地及他人の作で研究せられるより他に道なし ■三 アールヌボワのこと

ならん ■四 志奈地氏の『圖案法概要』に「圖案は衣食住に關する總ての物品を製作する工藝品に適應するやう模様、形状、色彩を考按して趣味ある着想を表示したものである」といふある、これで見ると模様は圖案に含まれてゐるものであつて、其一部と云ふてよいであらう ■五 何の書の事なりや不明 ■一 『みつゑ』三十號の『故郷の秋』は丸山先生何歳頃の作にや、また大さは如何 ■二 研究所に入り専門に研究するに十八歳にては遅きや ■三 日本現代の風景畫家にて成功せし人は誰なりや ■四 吉田藤尾女史は何人にや（榎本生）◎一 三十五六歳頃、ワットマン四切 ■二 年齢の早晩によらず勉強次第なり、可相成は中學校卒業後がよろし ■三 程度問題なれどかゝる事は御答の限りでない ■四 吉田博士夫人なり ■一 木炭畫の研究は如何にしてよきや、若し石膏のモデルがよければそれは如何なるものを求むべきや ■二 五十八號廣告にあるニュートン社の出版物は、英語の學力がどれ程あれば讀み得べきや（紫水）◎一 木炭

畫のことは『みづゑ』四十七及五十にあり就て見られたし。石膏像は東京赤坂高樹町十五菊地氏宛目錄を請求しその中から選ばれよ、初學者は牛肉ものゝ模様か草花などがよく、漸次胸像に及ぶべし、菊地氏へは本會の紹介也と申添たなら、定價よりも多少の割引あらん二 全部見ない故不明なれど、編者の見たものはナシヨナルリダー四位を讀み得れば、字引相手に困難なしに一通りは解し得べし、但かゝる専門の書物にはそれゝ術語があれば、その點は文字以外の解釋を要すべし■一 古代器物に水彩の圖案に見るやうな模様あり何か經歷あることにや二 普通の文學雜誌にコマ繪を投書するは別に害なきものにや三 文部省美術展覽會洋畫部の畫集中最も精巧なるものゝ發行所及定價を知りたし四 尋常中學に於ける圖畫のみにて普通一通りになるべきか(津川清造)◎一 水彩の圖案といふ意味不明なり、西洋風の圖案といふことにや、古代とはいつ頃を指すにや、元龜天正の頃は西歐との交通あり、其頃舶來せしも

の或はそれを模せしものあらん、詳しく知らんとならば静岡市鷹匠町三の十比奈地先生宛問合はされよ二 懸賞を目的とし、或は選者の畫風に依り、これに熱心になつたら害も生ぜん、慰み半分位ひの考なら無害三 審美書院及畫報社と只二ヶ所より發行せしのみにて、しかも審美書院の分は品切なり、畫報社の分は當選畫集定價未詳、審査員畫集一冊五十錢、發行所は本郷湯島切通坂上畫報社四 普通物の形狀を模し、多少の美的觀念を興ふるが目的ときげど不充なること勿論なり■高等小學校圖畫教師及び中等教員の資格如何(師心恐)◎何れも檢定試験による、年數回試験あり、前者は未詳なれど、後者は中學校卒業者に限り、用器畫自在畫圖案及其他二三の學科試験あり、詳細を知らんとせば、文部省に問合はされよ■一 特別讀者は地方講習生と同じく描法の説明をきかれますか二 同讀者へ御配布の畫面の大き如何三 地方に居て東京の畫會の研究員になれる方法ありや四 専門的に研究するに自然のデター

ルをのがさぬ様にかくのと、望月氏の畫のやうにすると何れが利益なりや五 點綴的の描法とボカシ的の描法と初學者には何れがよきや六 水彩畫は見える通りにかくものによ、展覽會を見て腑に落ちぬ處あり(飯田藤期)◎一 特別讀者は會友と同資格にして、地方講習生と同じからず二 ワットマン九ツ切、額縁自辨なれば、それよりは少々大なるもの差上てもよし三 地方講習生となるより他に道なし四 兩方必要なり五 寫すべきもの、狀態による六 これも畫者の考次第、要はその畫いたものが充分自然の感情が出て他人に美觀を興へることが出來たらよい、但研究中は自然を忠實に寫す心得で、あまり自分の考は出さぬ方がよからん■一 『みづゑ』の巻尾の色紙は何處で賣りますか二 サブライムの感があるとは如何なることにや三 フイキサテイーフは自製するに如何にしてよきか四 水彩畫にケントは代用し得べきか五 クリムソンレーキ、ライトレッド、ブラオン

マターの用途を知りたし六 吉田博氏は如何なる色を一番多く使用せらるゝや(日本橋和輝生)◎一 スキ色といふ紙にて洋紙店には何處でもあり二 壯美といふこと三 シケルラツクをアルコールにてとく四 時としてケントのよき場合あり、但中判か大判に限り、且その紙の裏(布目のある方)を用ひよ五 用途非常に廣く、殆ど何にて入る、空にも、樹にも、草にも、家根にもといふ程なれば一々擧げがたし六 知らず、序に君に申上る、此誌面は御覽の通り紙數僅少なれば、質問は出来るだけ適切、且他の諸君にも有益なるものにして欲しい 一の如き紙屋へゆく方が早い 二は英和字典をさがせば直く出て来る 五はあまりに幼稚 六の如きは何の利益があるか知らぬが、吉田氏の繪を見たら分らうし、また答へやうにも、畫者には自分の好きな色があつて、それを他の色より多く用ひるといふ場合もあれど、いくら好きな色でも、繪によつては用ひぬ時もあり、また好きな色も時に變ることもある、今後は詰らぬ

質問には答へぬことにします◎一 コムポシシヨンの詳細なる説明、またコンボシシヨンに關する書ありや二 エツチングの詳細なる解説用途、及其書名(北海道K.T.生)◎一 構圖といふことにて、構圖法の詳細はこの欄にては説明しがたし、書物は、外國にはそれに關して幾多の著書ありときけど、編者の手許にはなし丸善にもなからん二 本誌四十號に山本氏の説明あり、用途も分明すべし、書物としては構圖法と同様日本にはなからん

讀者の領分

■肉筆水彩畫の廻覽通帖を編んで、田舎の不自由なる同好者と研究して見たい、御賛成の方は下名又は本欄で(石見美濃郡都茂小學校内飯田紫朗) ■小生は當地同好者數名を以て、昨年より霞水彩研究会なるものを催し居れり、諸子よ、神戸に一大研究所を設けては如何(神戸下山一、四九、B生) ■公開の繪葉書競技會交換會を設けられたし、次に自筆水彩ハガ

キ交換の神聖にして返葉闕如等のなきもの交換希望、小笠原様御返葉を乞ふ(神戸布引久形橋東詰津川清衛) ■自筆水彩繪葉書交換を願ふ、また近くの方は御來遊を(香川縣大川郡長尾村尋高小學校内三好よし) ■『みづゑ』新年號所感、「雪の日」は先生御得意のもの感心、「冬の自然」は數年間御經驗の結果として大に吾々を益した、「いぬのいろく」僕等の考及ばぬ圖柄、「山岳論」が續出されたのは喜ばしい、「オレンヂ市場」は強い色彩が目につ、「三脚物語」は直接先生のお話をきく様で嬉しい、「水彩肖像畫法」は出来るだけ長く且詳しく願たし(神戸津川) ■私も今度會友となりました諸君の御指導を願ひます、吾々は遠く九州に居て諸先生の教もきかれませんが、お互に連絡をとつて同好者を集め、かれて羨ましく思つてゐる夏期講習會を開催して頂く事にも致さうてはありませんか。『みづゑ』一月號に一番面白く讀んだのは大下先生の「三脚物語」です、「冬の自然」、「肖像畫法」も吾々を導くことが多い、原色版は他に